

齊藤茂吉全集

第三十七卷

齋藤茂吉全集

第二十七卷

第十四回配本（全三十六卷）

齋藤茂吉全集 第二十七卷

定價 千八百圓

昭和四十九年二月十三日發行

著者 齋藤 茂吉

發行者 岩波 雄二郎

發行所 東京部千代田區一ツ橋二丁目五番五號
株式會社 岩波書店

印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・亂丁本はお取替いたします

手記 一

目次

手帳一		一
手帳二		四
手帳三		九
手帳四（長崎より東京へ）		一四
手帳五		一八
手帳六		二五
手帳七		二五
手帳八（ワツファウ行）		二六
手帳九（ウイン末ミュンヘン）		二七
手帳十（ミュンヘン講義）		二七
手帳十一（ミュンヘン講義スパツツ講師）		二八

手帳十二(ミュンヘン教室).....	二八二
手帳十三(1924 雜記).....	二九六
手帳十四.....	三二六
手帳十五.....	三八
手帳十六.....	三四〇
手帳十七.....	三五六
手帳十八.....	三七一
手帳十九.....	三八五
手帳二十.....	四二三
手帳二十一.....	四三七
手帳二十二(北平その一).....	四四五
手帳二十三.....	四六五
手帳二十四.....	四七五
手帳二十五.....	五二四
手帳二十六.....	五三六

手帳二十七	五五五
手帳二十八	五九〇
手帳二十九	六〇六
手帳三十	六三八
手帳三十一	六七二
手帳三十二	七〇一
手帳三十三	七二六
手帳三十四	七二八
手帳三十五	七四一
手帳三十六	七六六
手帳三十七	七九七
手帳三十八	八三七
手帳三十九	八四五
手帳四十	八八二
手帳四十一	八九八

手帳四十二	九〇
-------	----

後記	九六
----	----

手帳一

〔左見返〕

鍛冶屋町高村／コージヤ町二十七本田／コノ向ヒガボロヤ、
 兵庫縣西宮香櫨園池端中村憲吉／宿屋 京都市木屋町松原。江端梅。／熊本市坪井六間町美作小
 一郎（五高法科）／山形市七日町丸山旅館守谷廣吉／大阪東區農人橋二池崎忠孝／十人町六九
 奥太一郎／久留米篠山町一ノ十二圓山廣俊
 佐世保／久遠寺波止場／瀬川村（午後三時發）／山中ニ南蠻寺アト／古ツカアリ／オランダ皿／醫、
 宮崎道中（子、道憲、學生）／福岡市外堅粕町日吉町藤平方義作／夕立雨にゴロゴロあられ／外
 科宗傳 摸型、聽診器／石川縣北安田明達寺曉烏敏
 217 cohn

〔本文左より〕

長崎、三重。 三菱サンバシ 朝十時 午後二時半頃
 45—59 (一) 60—74 (丙) 75—89 (乙) 90—100 (甲)

大正八年度試験問題

Ⅰ、次ノ諸證ノ概念ヲ述ベヨ。 a) Gedankenlautwerden (有聲考慮) b) Willenspernung .

阻礙 c) Nihilistischer-wahn d) Konfabulation e) Ideenflucht. f) Erythrophobie g)

Ganser'scher Dämmerzustand. h) Versprochenheit i) Grimassieren j) Lustmord.

Ⅱ、躁病性興奮ト緊張病性興奮トノ鑑別、

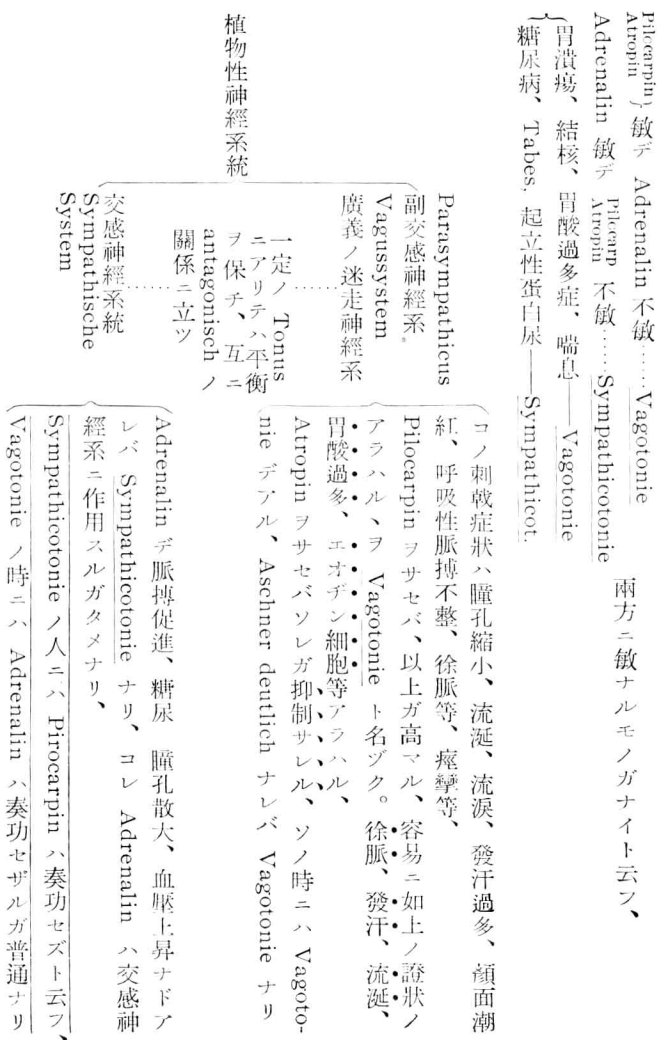
Ⅲ、躁病、妄想性癡呆、麻痺性癡呆、ばらのいあニ現ハル、誇大妄想ノ各ノ特徴ヲ記セ、

1、窒息屍ノ内景所見 2、火傷屍ニツキ、自殺カ、他殺カ、偶然死カ鑑別、 3、衣服ニ附著

セル一見極メテ古キ疑問ノ斑痕ニツキ、人血痕ナリヤ否ヤノ檢出法 / 26 58 64 78 / Tardieu'sche Flecken たるじゆう氏斑、 Florence'sche Krysalie ぶらん氏結晶

Eppinger u. Hess.

○交感神経系ト副交感神経系トハ常ニ互ニ Antagonismus ノ狀ニブリテ gleichgewicht ヲ保ツテ居ル、コノ平衡ノタメニ内臓其他不隨機能ノ調節行ハル、。モシソノ平衡失ハル、時ニハ、一方ノ作用ガ顯著トナリテ種々ナル病的顯象ヲアラハス、○Sympathicus ト Parasympathicus ニ作用スル藥物ヲ作用セシメ、ソノ平衡ノ消失ヲ顯著ナラシメモンシテ具體的ノ診斷ニ供セリ、○彼等ニヨレバ、カク平衡ヲ失フ場合ハ副交感系ガ過緊張ノ狀ニアルカ交感系ガ過緊張ニ在ルカ、ソノイヅレカニアルト説ク、



獨立系統

根源及神經道

作用範圍

根源及神經道

狹義ノ交感神經系統

作用範圍

中腦 第三腦神經

眼

瞳孔括約筋及毛様筋ノ收縮

第七第九第十腦神經(延髓)迷走神經内ニ於テ合ス

官器部内

心臟及頭部粘膜内血管ノ制止
食道ヨリ下行結腸ニ至ルマデノ腸筋ニ及ボス運動作用及ビ制止作用
氣管及肺臓ノ筋質ニ及ボス運動作用及制止作用
胃腺肝臓及脾(?)ノ分泌
直腸、肝門及外生殖器ノ動脈ノ制止
下行結腸、直腸及肝門ノ平滑筋ノ收縮
肛門平滑筋ノ制止、膀胱ノ收縮
尿道ノ制止(及收縮?)
外生殖器ノ筋ノ制止、

脊 髓

第一胸神經乃至第五腰神經、

官器部内

皮膚 眼
瞳孔散大筋、眼窩平滑筋及眼ノ動脈ノ收縮
平滑筋及動脈ノ收縮、腺ノ分泌
心臟ノ加速及頭部粘膜内血管ノ收縮
食道乃至下行結腸ノ腸筋ニ及ボス制止作用及運動作用
胃腺、肝臓及脾(?)ノ分泌
食道ヨリ下行結腸ニ至ル腸肺(?)及腹臓ノ血管ノ收縮、脾、輸尿管及内生殖器ノ平滑筋ノ收縮
直腸、肝門及外生殖器ノ動脈ノ收縮
下行結腸、直腸及肝門ノ平滑筋ノ制止及收縮
膀胱ノ制止及收縮
尿道ノ收縮(及制止?)
外生殖器ノ筋ノ收縮、

第一、第二、第三薦骨神經

1、ソノ他 Pötzl 等ニヨレバ精神病者中ニハ兩方ニ鋭ナルモノモアル。2、Falta, Neuburg
 ニヨレバ Diabetes, Asthma ニモ兩方ノガアル。3 Petren Thorling 等ニヨレバ Neurasthe-
 nie ニモアル。4 又 Petren, Thorling ラハ Tonus ノ亢進ト Reizbarkeit ノ Steigerung
 トヲ區別シテ、Tonus ガ steigern スレバコレヲ刺激スル Mittel デモ lähmen スル Mittel
 デモ共ニ敏感ダト云フ。5 Bauer モ Eppinger 等ノ Vagotonie ノモノニモ Adrenalin ト
 Pilocarp ト同時ニ敏感ナルモノモアリ、Sympatonic デモ兩者ニ敏ナル例ヲアゲタリ。6、
 Lehmann ハ 100 人ニツキ、Adrenalin ニ敏感ナモノハ 95% ハ Pilocarpin ニモ敏感デ、Atro-
 pin ト Pilocarpin ノ作用ハ並行セズニ、却ツテ Adrenalin ト Pilocarpin ハ並行ス。カナル
 患者ハ Veget. N-System 全體ノ亢奮性ガ亢マリ居ルノデアル。又汗腺ハ元來、交感神經カラ主
 サイサレテ居ルノニ Pilocarpin ノ主ナ Wirkung ハ發汗デアル。ソコ解剖學的、生理學的ト
 藥物學的ノ交感神經ハチガフ。7、Wentges ハ機能性神經疾患ニ應用シ、8、安藤ハ官能
 障礙症ニ應用セリ、

方法、

分量、1、Eppinger. Adrenalin 0.001 迄 0.00075 ♀ 2、Pötzl. Atropin 體 1 kg ニツキ 1

Atropin 0.001 迄 0.00075 ♀

Pilocarpin 0.01 迄 0.0075 ♀

注射前ニ Traubenzucker 100 gr.

Pilocarpin ハ 1 kg 1 千分ノ 1

3' Walter < Adrenalin 千倍 0.75 } 4' Bawer Adrenalin 0.0005—7

Atropin ≈ 0.5 } Atropin 0.0005

Pilocarp 百倍 0.75 } Pilocarpin 0.007—5

5' 茂吉 Walter < 應シテ Ad. 千 0.75 }

Atro 千 0.5 }

Piloc 百 0.75 }

Adrenalin. 脈搏數、血壓、體溫(腋窩) 呼吸、震戰、心悸動、顔面、蒼白、糖ハトロムメル、

ニールンデル法 時間ハ一時間、Aschner ト、Dematograph.

Atropin. 脈搏ノ數、口渴、心悸動等、脈搏増進スル場合ニハ注射前ノモノニ復スルマデナセリ、

時間ハ一時間半ヨリ二時間半

Pilocarpin. 脈搏ノ數、流涎、流汗、胃腸ノ運動、尿素等、

Walter < Atropin 20 分、23、60' (Puls 下ツテ居ル)、30' (24' ヨリ上ル 22' (上ル)、23'

臨床の觀察ノ記載、

normal ト雖モ毒物故ニ thibertonus デナクモ相應ノ作用アリ、 $\therefore$ ソノ標準ヲ示サマルベカラズ、

(一) Atropin 口渴ノ有無、心悸ノ有無、頭痛等ハ Katat ニハ見ルコトヲエズ。

Priton < Thorling < Puls ノ増加 20 以上、口渴、心悸 + Eppinger < Puls ハ倍加スルト

云フ Lehmann < Puls ノ増加 30、口渴、心悸 + 松尾 Puls 20 以上 + 30 以上 + 17—18

デ口渴、心悸ナルモノハトシテナクバ士 Walter ハ時間少ナク、20—30' デアル、

(2) Adrenalin

Eppinger ヲ Puls ノ 1/e ノ 増加、尿量ノ倍加、反射ノ増進 + Lehmann ヲ Bergmann ニ從
 ヲ Puls 30 以上ノ増、震戦 + Burgesch ニヨルバ gesund デモ 10—30 ノ増加アリ、Blutdruck
 ハ 1—150 mm マデアリト云フ 心悸動、顔白、輕度ノ震戦、

松尾、Puls ノ増加 20 以上 } Walder. Puls ハ 10 以上 + 20 以上 + + 10 以下 0

血壓ノ増加 20 以上 } 血壓 10 以上 + 20 以上 + + 10 以下 0

強度ノ震戦 } (36—45 モ + + +)

心悸動、(糖ノ現出)

3. Pilocarpin

Burgsch ニヨルバ健者デモ多少ノ熱感、流涎、發汗アルモノトス、Puls ハ理論上減少スルモ、

實際ハ増加ス、

Lehmann ハ脈搏ノ増加ニハ意義ヲ求メズ。

流涎ヲ標準トシテ 75 cc ソノ他デ +

80—200 強度ノ發汗 } + +

200—300 發汗 } + + +

120 デ發汗ナケレバ } +

150 デモ嘔吐等アレバ } +

松尾、發汗、流涎ヲ標準トシ程度大、持續デ(+) 胃腸ノ病狀アレバソレヲ參考トセリ、Puls ノ

増加 20 以上ノ時ハ參考セリ 發汗、流涎ノ一ヲ缺如スル時ニハ (一) 程度ニヨリ 十、十、十トセリ。

發汗セルコトヲ證明セラルベキモノ 十 流涎甚ダシク度々吐出セザルベカラザルモノ 十

強ク發汗セルモノ 十 ソノ度ノ特ニ強キモノ 十

強ク發汗シテ流ル、ニ至リシモノ 十

結果 (松尾)

Atropin 5—15、デ Puls ガ減少シ后増セドモ又増サヌモノアリ、コレ Paradoxe Wirkung デ、Lehmann モ注意シテ居ル、シカシ千倍ノモノ 0.5 サセバコレガナクナルト云フモ、デガフ、松尾ハ 30 以上増加シタルハ 14—19 才ノモノニ多シ

Adrenalin 1、Puls モ Druck モ増シ、減少ヲ見ズ、2、呼吸モ増ス、3、體溫マスコトアリ

十、震戰、5、Puls ト Druck ト Zucker 三ツ揃フコトハ少ナイ、コレ Dissociation (Lehmann) ニヨルカ 6、epinger、Sympathicot (Adrenal. 敏者) ハ老年者ニ多シト云フガ予ニハ然ラズ、

Pilocarpin 動物試ケンハ Puls ヲ少ナクスルガ、Bauer, Lehmann 松尾等ハ増スコトヲ見タリ、

ノ 1、多クハ増加ス、一例ハ 5、分デ 19 ヲ減ジタリ、2、惡心、嘔吐、腸ノグルレン、吃逆、熱感、冷感、3、發汗ト流涎ノ時間ハ 5、デ始 1。シツク、發汗ト流涎ト Parallel ナルガ、前後スル事アリ、4、年齢ノ差ヲ認めズ、
批判的觀察